

平成25年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（松本地域）

1 地域協働の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
平成25年度地区再発見情報発信事業	松本市	地区で実施している様々な活動や人的資源、地域資源を題材に、地域住民からなる番組検討委員会が企画、制作した番組を、TVメディアを通じて情報発信することで、地域を越えた情報交流を図るとともに、住民の地域活動への社会参加を促す契機とする。	1,334,784	1,001,000	地区で実施している様々な活動、人的資源などTVメディアを通じて広く発信し、地区・団体の枠を越えた情報交流が図られた。また、従来公民館が扱ってこなかった交通・産業等も含めた幅広い議論が展開されたことで、公民館の「学習」を核とした総合的な地域づくりの下地ができた。
地域住民の憩いの場 交流の場づくり事業	筑北村	建設より長期間が経過したマレットゴルフ場を、住民有志自らがコース整備を行い、子どもから高齢者まで参加できる大会を開催することで、世代間の交流機会の創出により地域の絆をより一層強める	1,323,283	869,000	地域住民の協働により、マレットゴルフ場の改修を実施することにより、地域住民の交流や生涯スポーツの振興が図られた。今後はより多くの人々が整備したマレットゴルフ場を利用し、更なる地域活性化が図られるような取組みを期待したい。
ユニバーサルデザインキャンプ2013「学校のユニバーサルデザイン」	まつもとユニバーサルデザインネットワーク研究所（松本市）	ユニバーサルデザインの考え方の手法として、市民・企業・行政が連携して参加するユニバーサルデザインキャンプを開催する。テーマを「学校のユニバーサルデザイン」として提案し、ユニバーサルデザインの更なる波を広げる。	1,554,695	1,081,000	ユニバーサルデザインキャンプを開催し、学校のユニバーサルデザインについて具体的な事例を紹介することにより、思いやりや支えあいの心が生まれた。今後はより多くの団体と連携しながらユニバーサルデザインの考え方の推進に期待したい。
地域と商店街を繋ぐ「なわて 水辺プロジェクト」	ナワテ通り商業協同組合（松本市）	地域の農家やクラフト作家が月ごとに自ら企画運営する水辺のマルシェをはじめ、資源・人材を商店街とつなげる各種イベントを開催することで、街中の回遊性を高め、地域の活性化に寄与する	1,038,450	756,000	水辺のイベントが開催され、商店街と地域の農家やクラフト作家などとの交流及び市民や観光客の回遊性の向上、また3年目にあたりイベント認知度も向上している。今後も、イベントをきっかけに地域協働の推進、街中の回遊性の向上が期待される。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
松本山雅FC支援を核にした地域づくり	神林町会連合会 (松本市)	松本山雅の応援をきっかけとして、地域の幅広い世代間の交流や地域の活性化を図るため、ホームゲームの際に山雅PRの昇り旗の掲揚やスタジアム周辺清掃、選手を招へいしてのサッカー教室の開催等を行う。	493,042	368,000	地元住民としても、松本山雅FCを、地域の宝として大事にする意識の増進が図られた。昨年度発足した「神林山雅の会」が中心となって、各事業を展開して行く中で、子どもから高齢者までが、顔の見える人間関係を強固にし、また、その絆が拡大し、新たな地域づくりに貢献した。
町会活性化事業	松本市町会連合会 (松本市)	新任町会長や役員を対象とした研修会や学習会の実施及び町会運営の手引書を作成することで、多様な地域課題に的確に対応し、誰もが参加できる町会運営の必要性を認識する。	504,764	360,000	町会長・町会役員等を対象とした研修会の実施及び町会運営の手引きの作成により、「誰もが参加できる開かれた町会運営」への意識が高まり、魅力ある町会運営に寄与した。
入山辺地区地域づくり推進事業	入山辺地区の将来ビジョンを考える会 (松本市)	学習会により見出された地域課題を踏まえて、地域内の道路沿線にツツジ等の植栽を行ったり、地域の文化財や山城、観光資源などの情報を掲載したガイドブックの製作を行うことで、地区の文化や観光資源を積極的に発信し、地域の活性化につなげる。	1,036,847	532,000	定期的な学習会、植樹活動遊休農地を活用したそばの栽培等及びガイドマップの作成等を通じ、地域の魅力を参加者相互で確認共有し、住民意識の高まりに寄与した。
NPOの問題解決のために、広報力を高める事業	地域活動応援チーム えんのわ (塩尻市)	NPO等市民活動団体の課題解決のため、自らの活動を幅広く効果的に広報する力を養うセミナーや交流会を開催することで、市民活動団体の自立的な活動を支援する。	1,435,028	866,000	当日の参加者だけでなく、インターネットによる動画配信により参加できなかった人にもセミナーを閲覧できるようにした。また参加者相互の交流会を開催することで、効果的な広報手段をお互いから学び合うなど、今後の各NPO等の活動の推進が期待される。
協働まちづくり「安曇野まちなかカレッジ」事業	NPO法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部 (安曇野市)	平成24年度に市民参加によるワークショップによりまとめた提言の実現化に向けた第一歩として、市民、関係団体、行政の協働まちづくりの場となる「安曇野まちなかカレッジ」を設立し、住民参加型の魅力ある地域づくりを目指す。	961,155	630,000	旧保高宿の資料収集や、従来から実施されてきたソフト事業を一体化し開催した2回の「安曇野まちなかカレッジ」での情報発信を通じ、地域の交流拡大を図り、地域住民の旧保高宿への関心を高め、まちづくりに関わるきっかけづくりに寄与した。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
おみの星空キャンドルまつり実施事業	アイスクヤンドルまつり実行委員会（麻績村）	観光客が減少する冬季に、住民主体で幅広い世代が気軽に参加できる新たなイベント「おみの星空キャンドルまつり」を開催し、観光客の増加と住民活動による地域交流を促進する。	570,761	424,000	ボランティアが中心となり企画・運営を担う住民参加型イベントとして定着しつつあり、村内の住民同士の交流に加え、観光客との交流も促進され、目標以上の成果を挙げている。住民主体の地域交流イベントとしてモデル性に優れた事業であり評価できる。
のびのび福島の子供たち聖高原サマーキャンプ2013!	麻績村サポーターOMIMO（麻績村）	原発事故の影響を受け放射能の不安を抱える福島の親子を招待し、村の子どもたちとも交流できるサマーキャンプを地元住民と共に企画運営し相互交流を図る。	550,980	413,000	福島の子どもたちと麻績村の子どもたちとの交流を通して、福島の子どもたちのリフレッシュと、聖高原のファンの開拓が図られ、地域活性化が図られた。運営には松本大学の学生ボランティアや筑北村の団体との連携を図るなど、広がりが認められる点も評価できる。

2 保健、医療及び福祉の充実に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
若いときからの認知症予防事業	松本市	認知症予防対策の視点で、幅広い世代の方が認知症予防に関係のある事業に参加できるよう民間との連携をさらに広げて、脳活ポイントプログラム事業を実施する。また、予防の重要性を「食」の観点から考える講演会を開催する。	2,453,266	1,568,000	講演会、広報等で啓発活動をし生活習慣病を未然に防ぎ将来の認知症予防、介護予防につながる効果が見られた。
「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2013	松本市	子どもの権利に関する条例の制定を踏まえ、社会全体で子どもの権利や子どもに関する施策を考える機会とするため、全国規模のシンポジウムを開催する。	1,070,010	572,000	松本市民を始め、子どもに関わる団体や自治体職員など、県内外から約300人の参加があり、子どもを取り巻く現状や施策について考える貴重な機会となった。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
子ども支援・相談スペース設置・運営事業	松本市	ひきこもり状態にある市内の小中学生を対象として、支援の場を提供し、学習のサポートや相談業務を行うことで、ひきこもり状態の改善を図るとともに、子育てしやすい環境を整備する。	2,524,040	1,267,000	不登校の小・中学生のうち、中間教室へ通えない引きこもり状態の者に居場所を提供し、外へ出るきっかけづくりとなった。学習サポートや相談業務の利用も徐々に実績があがっており、評価できる。
インターバル速歩実施事業	安曇野市	比較的手軽に始められるインターバル速歩を実施することにより、主に中高年世代一人ひとりの健康に対する意識を高め、自分に適した運動を日常的に取り入れることにより、運動の習慣化を促す。	1,655,500	1,241,000	事業参加者のインターバル速歩実施率は高く、身体状況の改善効果が実証された。今後は、参加者による自主グループでの活動を通じコミュニティが形成されることが期待される。
「はしれいくりん」でひろげよう健康づくりの輪事業	生坂村	H24年度に出来上がった健康体操「はしれいくりん」を村内各地にさらに普及するため、健康運動指導士と管理栄養士が各地区へ出向き体操指導と減塩による食生活改善指導を行うことで健康意識の向上につなげる。	498,222	373,000	健康体操「はしれいくりん」をきっかけに、小中学生やその親をはじめ村民全体を巻き込んだ健康づくり活動がおこなわれている。小規模の村ならではの活動は、健康づくりや生きがいがいづくりにもつながるものと期待される。
キラリ☆アクア健康教室事業	筑北村	村民が自分の体力に適した運動を生活の中に取り入れていくための学習会や大学生に協力を得ながら運動実技教室等を開催する。またその教室に活用するための運動器具を購入する。	1,334,300	928,000	健康教室を開催するとともに、エアロバイクを整備することで、村民の健康意識の醸成と体力向上が図れた。今後は健康教室を継続的に実施するとともに、エアロバイクの利用率向上を図ることで、更なる事業効果が期待される。
在宅難病患者（児）・家族の安心を支える総合ICT支援ネットの輪	NPO法人e-MADO病気のこどもの総合ケアネット（松本市）	患者・家族と医師、看護師、ケアマネージャなどがタブレット端末を使いチームとして相互に情報共有や遠隔モニタリングするためのソフトウェア開発をする。またチームが行う在宅ケアのメリットを公開するセミナーを開催する。	3,786,010	2,697,000	情報通信技術を利用した在宅患者ケアを実施し、難病患者・家族の安心感向上やストレス軽減に役立て、在宅療養環境にある患者・家族の支援につながった。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
2013年障がい者で行く高橋まゆみ人形館	ひまわり号松本実行委員会（松本市）	障害者と健常者が一緒に旅をして、相互理解によるバリアフリーの暮らしやすい街づくりの検証を行う。、地域大学等と連携し、旅行参加を通じてボランティア育成と福祉の推進を目指す。	1,031,800	386,000	障がい者旅行を企画・実施し、多くの障がい者の社会参加ができた。今後、旅行参加を通じてボランティア育成と福祉の推進に期待したい。
子育て・孫育て 多世代・創造的遊びを実践する事業	松本わらべ館設立準備室（松本市）	子どもの心身の成長の合わせた良質な木製おもちゃを厳選して揃え、年齢を超えて楽しめる遊びの場を提供する。また、お年寄り等が講師となって親子でものづくりをする体験型ワークショップやお出かけ講座などを年間を通じて定期的に開催することで、子どもが自ら考えて行動する力を養う。	475,038	317,000	良質な木のおもちゃで遊ぶ場や、毎週工作や料理体験ができる場の提供などを通じ、子どもたちに健全で創造的な遊びを提供したり、多世代つながりの場づくりができ、子育て環境の充実が図られた。
がん患者ネットワークづくりとがん啓発事業	がんサポートサロン安曇野（松本市）	がん患者が正しい情報を得て、患者同士が悩みを共有できる場としての定期的な勉強会の開催及びホームページ作成を行う。また、全国的ながん啓発イベントに出展し、講演会やパネル展示を行う。	851,780	638,000	イベントでの講演会やホームページの制作により、がんの体験談やがん情報等の発信ができた。今後は、参加メンバー間の交流、情報共有に向けた取り組み等をより一層進展させることを期待する。
第4回アディクションセミナー	信州アディクションセミナー実行委員会（松本市）	依存症（アディクション）に関する知識を広く一般に広めるため、市民セミナーを開催し、専門家による講演や問題を乗り越えた当事者の体験発表などにより、病気に対する理解を深め、解決策を探る。	415,895	311,000	セミナーの実施により、アディクション（依存症）の周知啓発の他、アディクションに悩む本人、家族への情報提供、支援が図られた。
ながの不登校を考える県民の会事業	ながの不登校を考える県民の会（松本市）	学齢期に限定せず連続性を持った子ども、若者の支援を行うため、一般の特にシニア層を対象とした連続講座を開催することで人材の育成を図る。また県民の集いや個別相談会を開催し、支援を求める当事者や家族の課題解決や相互交流の場の提供を行う。	1,729,454	1,383,000	支援者の養成講座や、「県民のつどい」の実施により、地域の人材を巻き込んだ支援の仕組や、支援を受けられる環境を拡充するためのネットワークの構築が進むことが期待できる。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
精神障がい者への就労支援及び家族支援事業	三郷にに八 (安曇野市)	りんご農園での農作業や農産物加工品製造作業等による就労体験を通じて、精神障がい者の回復をサポートするため、精神保健福祉士などの専門家を招へいする。また当事者家族相互の繋がり場の提供し、正しい理解を深めるのための学習会を開催する。	761,890	562,000	農作業、お菓子製造加工作業や家族会、学習会の実施を通じ、精神障がい者の就労体験・就労の場の提供及び家族支援が図られた。
平成25年度 長野こども療育推進事業	長野こども療育推進サークル ゆうテラス (安曇野市)	障がいや疾患を持つ子どもたちの在宅療育推進のため情報誌の発行と医療的ケアのマニュアルDVDの制作を行う。また、県立こども病院に入院中の子どもや在宅療育の小児を対象とした歯科検診を行う。	1,245,862	934,000	活動を通じ、様々な職種とのつながりを構築したことで、こども病院の行う小児等在宅医療地域連携拠点事業の多職種連携の下地づくりにも寄与し、地域における在宅療育支援に貢献した。
高齢者向け地域支え合い事業	シルバーカフェ (松本市)	気兼ねなく立ち寄れるシルバーカフェを拠点に地域企業や高齢者ボランティアによる健康づくり教室や地域に住む高齢者のさらなる生活充実を図るフォーラムを開催する。	1,765,007	1,323,000	様々な高齢者の生活充実を図れるイベントを実施し、心と体の健康増進に貢献できたと思われる。今後、地域にある地元企業や地域に住む高齢者自らがボランティア活動を行うことで、地域の支えあう体制の一層強化が期待される。
松本地区の動物愛護推進事業	一般社団法人ゆめまるHAPPY隊 (松本市)	震災で被災した犬や保健所の保護期間を経過した犬をシェルターに引き取り、地域のボランティアと一緒に保護活動や新しい飼主探しを行うとともに、動物愛護についての啓発活動を行う。	4,517,602	3,100,000	保護期間の過ぎた犬の引取り及び新しい飼主探しは、松本保健所管内の処分頭数削減に大きく寄与している。また、動物の正しい飼い方の普及啓発活動も行っている。今後も譲渡会イベントや啓発活動を継続し、命の大切さを伝える活動に期待したい。
まつもと音楽フェスティバル事業	まつもと音楽フェスティバル実行委員会 (松本市)	音楽を通じて自立・共生、社会参加を目指す障がい者グループによる音楽フェスティバルを産学官協働により開催することで、障がい者に対する理解を深め、当事者やその家族に自信と希望を与えるきっかけとする。	5,090,544	2,747,000	地域住民や学生ボランティアの参加も得ながら、障がい者による音楽コンサートや、障がい者施設等の作品、販売の実施により、障がい者やその家族に自信と希望を与えることができ、障がい者に対する理解や関心を深めることに寄与した。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
障老学連携 地域の元気を畑から創りだす事業	ファーマーズコム新村（松本市）	障がい者と地域の高齢者や大学生が協働して、付加価値の高い農作物栽培・出荷・販売・加工に取り組み、畑を中心にお互いが助け合い、つながりを感じながら、生活を継続する仕組みづくりを行う。	757,552	531,000	農産物直売所を開設し、障がい者が農園で栽培した野菜をはじめとした農作物の販売を実施することで、就労支援をする学生、農家や地域住民と障がい者との交流が図られた。
いきいき・元気づくり事業	長野県高齢者生活協同組合 ボランティア芽ぶきの会（松本市）	高齢者が寝たきりや認知症になることを予防し、生涯現役でいきいきと暮らすことができるよう、体験型健康づくり講座やシンポジウムを開催するとともに、受講生自ら地域の方と集い学び合うことで、活動を地域に広く波及させる。	685,056	406,000	高齢者が主体的に学ぶ各種講座を計8回開催。また認知症介護について考えるシンポジウムを開催し、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりや在宅介護の課題について考える契機となった。
「自閉症を知ろう・感じよう・考えよう」事業	自閉症を知ろう・感じよう・考えよう実行委員会（塩尻市）	自閉症についての講演会、映画上映会、作品展示会及びシンポジウムを開催することで、より多くの地域住民に対して自閉症への理解を促し、課題解決に向けて自分達でできることを考える機会とする。	1,156,753	849,000	シンポジウム、映画上映や作品展等のイベントを通じて、一般の方に対し自閉症に対する理解を深めていただくことができ、有意義であったと思われる。

3 教育及び文化の振興に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
信州まつもとこどもキャンプ	松本市	避難を余儀なくされている福島県の小中学生の保養と市民との交流を目的に、市が町会連合会や子ども会育成会との共催により「信州まつもとこどもキャンプ」を開催することで、子どもたちがお互いを理解し支えあう心を養い、絆を深める機会とする。	2,912,851	1,557,000	福島県の小中学生の保護と地元の子供たちとの交流を目的に、夏休み（2回）、冬休み（1回）の計3回（延べ46人）のキャンプを行い、放射能の影響等により自由に遊ぶことのできない子供たちがのびのびと過ごせる機会となった。また、地元の小学生が歓迎会を企画するなどして交流が深められた。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
おみごと文庫（仮称）編纂事業	麻績村	伝統的な地域文化を詳しく知らない村民が多くいる現状に対処するため、郷土料理や伝統行事などを分かりやすく伝える冊子「おみごと文庫」を地域住民と共に編纂する。	1,259,736	944,000	冊子の編纂を通して、多くの地域住民の参画が得られ、若い世代の郷土料理への理解や郷土愛の醸成につながった。よい内容の冊子が製作されたことから、今後はこの冊子を様々な場所、場面での活用を通して、波及効果が高まることを期待したい。
歴史の道ふれあい遊歩道整備事業	麻績村	根尾地区にある歴史的価値が非常に高い石積堰堤を村内外に広く発信するため、そこへ続く遊歩道を整備し、子ども体験教室などで活用することで、今まで埋もれていた史跡を後世へ伝えていくきっかけとする。	3,234,000	2,058,000	遊歩道の計画立案、意思決定や現場での作業の際は、地元根尾地区住民や地域団体を巻き込んで実施し、小・中学校とも連携して見学や授業で活用することにより、歴史的価値の高い石積堰堤を地域活性化につなげるきっかけを作ったことが評価できる。
地域の古いお宝発見事業	筑北村	重要文化財に指定された「懸仏」を村内外の多くの人知ってもらうため、青銅のレプリカを製作する。また、生涯学習ボランティアの協力を得て、文化財に関する学習教室を開催することで、郷土の歴史への関心を高める。	826,267	619,000	「懸仏」のレプリカの製作・展示や生涯学習ボランティアによる資料整備、昔チャレジ教室の開催を通じ、村の文化財を広く村民の方々に知ってもらい愛着を高めるきっかけとなった。今後は、これらの活動により多くの村民が参加し継続されることを期待したい。
幸せはこぶ「筑北クローパープラン」	筑北村	未就学児から小学生を対象とした、住民等が講師になって地域の伝統文化を伝える様々な教室を開催することで、幼少期から豊かな感受性を育み、地域愛を育むきっかけとする。	907,200	595,000	村内の小学校、保育園、子育て支援センターにおいて、地域の伝統文化や農作業の体験教室を実施することにより、子どもたちのコミュニケーション能力の醸成や愛着心を育む機会を創造した。今後はこの取組が地域で継続的に実施されることで、過疎に悩む中産間地域の将来を担う若者を育成するモデル的な取組みになると思われる。
古文書からみた松本地域の被差別部落	松本人権推進古文書研究会（松本市）	松本地域の被差別部落に関する古文書を読みとる学習会を開催し、被差別部落に人たちがどのような生活や仕事をしてきたか、いかに地域に役立っていたかを明らかにするとともに、ブログで公開し多くの人々に知ってもらい、差別意識の払拭に努める。	439,160	315,000	古文書から封建社会における被差別部落の生活と仕事を学習し、歴史認識を深め、差別意識の解消につながる効果が見られた。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
本郷の文化財仏像の冊子制作事業	本郷地区景観整備委員会 (松本市)	隠れた地域資源となっている仏像や石像などの文化財を世に出し幅広く地域住民に知ってもらうため、冊子を作成するとともに、文化財にちなんだ講演会を開催する。	1,159,760	854,000	冊子は、地域の寺院等にある仏像について、わかりやすい写真と解説で紹介している。また、調査の過程で、住民の文化財に対する意識が高められている。今後は地区公民館で行われる講座や小学校等学習の場などで冊子を活用し、地域の宝を守り伝えていってほしい。
子どもサミットin信州	認定NPO法人日本チェルノブイリ連帯基金 (松本市)	福島の子どもの被爆の軽減化とリフレッシュのための長野県へ招待し、地元の子どもたちと交流しながら共に学びあうことで、将来の社会について考える一歩とする。	1,070,144	426,000	福島県から計33名の親子がリフレッシュ保養に参加した。長野県・福島県双方の子どもの交流によって、「いのち・自然との共生・支えあい」について学ぶことができた。今後も交流を通じて将来の社会について考える一歩となるよう期待される。
松本・若者エンカレッジプロジェクト	総合型地域スポーツクラブs k I pまつもと (松本市)	不登校やニートの若者たちに対し、スポーツやキャンプなどアクティブな体験の場を提供し、そこから協力企業等でのインターンシップにステップアップさせていくことで、若者たちが社会に踏み出すための心の体力をつけるきっかけとする。	816,805	653,000	若者たちがスポーツ等を通じて、自然にコミュニケーションが取れるようになり、少しずつ自分に自信をもち、社会へ向って一歩踏み出す活動となった。
歴史の遊歩道環境整備事業	歴史の遊歩道を継承する会 (松本市)	数年手が入らず荒れてしまっている「歴史の遊歩道」としてのウォーキングコースの一部を波田地区の関係機関や一般住民が協働作業により復活させることで、地区内外からより多くの方々に訪れていただけるようにする。	788,181	425,000	荒廃していた歴史の遊歩道を整備したことにより、周辺にある若澤寺跡・波田城址などの歴史と自然散策ができる身近なウォーキングコースとして活用できるようになったため、今後、文化財の見学や、健康増進のために遊歩道を巡る住民が増えることが期待される。
カスティール サイクルクロス マツモト (松本城シクロクロス大会)	社団法人松本青年会議所 (松本市)	松本城周辺を会場にシクロクロス大会を開催するとともに、一般住民を対象とした自転車ふれあい講座を合わせて開催することで、地域に自転車の魅力を広く発信することで、自転車文化の根づいたまちづくりを目指す。	2,748,603	2,061,000	自転車ふれあい教室や市街サイクリング、市街地やお城周辺でのシクロクロスレースの実施により、自転車が似合う街松本の発信に寄与した。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
学校巡回展事業「いのちの本展～みんないっしょに生きている～」	本と子どもの発達を考える会 (松本市)	市内小学校の司書教諭と連携し、障がい・発達障害・病気への理解を深めるための書籍を学校へ貸出す事業や会員による出張授業を開催することで、子どもたちに命の大切さを伝える機会とする。	451,386	310,000	絵本を活用することで、子どもが自ら障がい・発達障害・病気への理解を深めるきっかけづくりができた点が評価できる。
「マルチカルチャーキャンプ!!」～信州在住ブラジル人の子弟と信州の子ども達との交流～	体験創庫かけはし (松本市)	文化的な相違や言葉の壁などが理由で交流が少ない在住ブラジル人の子弟と地域の子どもたちがキャンプを通じて交流することで、異文化理解の面で高い教育的効果を及ぼすとともに、地域における国際交流のきっかけとする。	813,166	422,000	キャンプの実施により、同じ地域に住みながら交流の機会が少ない日本人と在日ブラジル人の子どもたちが相互に交流し、地域における国際交流のきっかけづくりに寄与した。
GBCバスケットボール1upプロジェクト	GBC実行委員会 (松本市)	子ども向けのバスケットボール指導教室や車椅子バスケットボール体験などを開催することで、スポーツを通しての国籍、性別、年齢、障がいの枠を超えた交流が行える場を提供する。	1,200,935	622,000	小学生を対象としたクリニックや保護者向けの怪我への対処の講習会を通じ、バスケットボールに親しむ人の裾野を広げ、また、車いすバスケットボールイベントを通じ、障がい者スポーツの周知に寄与した。
郷原宿開設400年記念3年次事業	郷原宿を愛する会 (塩尻市)	2014年の郷原宿開設400周年記念に向けて、記念誌やDVDの製作やかつての面影を残した高札場の設置を行うことで、地域住民が400年の歴史を知り、地域に愛着、誇りを持つきっかけとする。	2,289,110	1,640,000	かわら版や記念誌の発行、DVDの製作等の事業実施により、地域住民の宿場に対する理解・愛着が増し、2014年実施の開宿400年祭に向け、機運が高まっている。
御船事業の担い手（後継者）の育成	豊里御船保存会 (安曇野市)	地域住民が協力して御船及び人形の製作を行い、また、PTAとも連携しながら子どもたちへのお囃子指導を行い、例大祭当日に御船曳航とお囃子演奏を行うことで、地域の絆を深めるとともに、次世代の担い手を育成する。	454,611	320,000	御船の組立、お囃子指導などの実施、例大祭への参加により、今まで区の行事への関心が薄かった区民の関心が高まり行事に参加するなど、区の一体感の醸成や世代間の交流が図られた。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
早春賦誕生100年記念事業と交流事業	早春賦愛唱会 (安曇野市)	平成25年に誕生100周年を迎える「早春賦」とその作者吉丸一昌の功績を広く伝え、安曇野を「早春賦の里」として広く発信するため、記念式典、コンサートの開催や記念誌の発行を行う。	1,589,450	1,192,000	記念式典・記念コンサートなどの実施により、「早春賦誕生100年」を機に、小中学生も交えた県内外の人々との交流が図られた。
文化芸術による都市間交流事業	松本市	文化観光交流都市協定を締結している札幌市、金沢市、鹿児島市等との都市間交流及びまつもと市民芸術館を拠点に活動しているTCアルプによる金沢演劇公演を実施し、相互の市民交流と観光誘客を図る。	3,438,531	1,515,000	松本市の3つのガク都、楽部(演劇)岳都(上高地)学都(旧開智学校、松本城)のモニターツアーを実施し、各都市からの参加者に松本市の魅力を体感していただくことができた。また、交流の増進、相互の都市の観光誘客が図られた。
わいわい!がやがや!にぎわいの麻績村を取り戻そう事業	麻績村	廃校舎を様々な交流や伝統文化の継承を行う拠点とし、「にぎわい麻績村」を取り戻すため、かつて学校で使われていた机や椅子のキットを住民参加により組み立てて「昔の学校」を再現する。	3,517,500	2,215,000	地域の高齢者、ボランティアの指導により子どもたちが交流しながら机、椅子の製作することで、地域での世代間交流が促進された。今後は、これらの整備した机、椅子を活用し、継続的に世代間交流や地域活性化が図られるような取組みが期待される。
「地球のステージMatsumoto3」	一般社団法人松本映画祭プロジェクト(松本市)	外国の異文化理解と平和を考える契機として、専門家による歌と語りのコンサートステージとともに、学生を対象とした体験型ワークショップなどの関連イベントを開催する。	899,166	650,000	小学生から高校生までの児童・生徒とその保護者が参加し、戦争の体験や平和への思いを世代間で語り継ぐことで、異文化共生の理解、国際感覚の醸成が図られた。今後は、この取組みが継続的に実施されることを期待したい。
AIMING FOR BOND ALL EYES ON GUINNESS ~競泳50m×1000人リレーでギネス記録に挑戦~	社団法人松本青年会議所(松本市)	競泳メダリストや地元の現役選手、マスターズスイマー、障がい者等の幅広いスイマーが集い、競泳リレーのギネス記録に挑戦することで、スポーツの達成感を得るとともに、互いを認め合い理解する心を養う。	1,276,745	952,000	ギネス記録に挑戦という目標に向かって、多くの参加者が協力し合う話題性のある内容であり、障がい者の理解促進も図られるなど一定の効果は認められるが、一過性のイベント的な内容であったため、これを契機に新たな取組みが行われることを期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
Re Forest Camp	筑北ファン倶楽部（筑北村）	福島県内の子供のいる家族を招待し、村や地域住民とも連携しながら、地元食の提供や遊歩道整備、地元の子供との交流などを行う、オリジナルキャンプを開催する。	1,262,148	841,000	キャンプの開催を通して、福島県内の子どもたちと、筑北村の子どもたちとの交流が図られた。今後は整備したキャンプ用品を有効に利用し、様々なキャンプイベントを開催することで、地域活性化につなげてもらいたい。

4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
すべらんBOX設置事業	生坂村	県産材を使った凍結防止剤収納ボックスを地区住民が自らの手で組立、設置することより、冬季の道路通行の安全安心に寄与する。	3,359,010	2,182,000	住民自らが収納ボックスを設置することで、地域は自らの手で守るという、安全・安心の意識向上に寄与した。また、今まで地面に直置きされていた凍結防止剤が収納ボックス上に整然と収納されたことで、よりスムーズで適切な除雪作業が行えるようになった。
地域でつながれ防災力アップ	生坂村	村保育園を会場に県の出前講座で家庭での防災対策についての学習し、実際に園児の各家庭へ転倒防止器具を配布した上で、対策状況を追跡調査し、地区の防災訓練の場で活用することで、防災意識の向上を図る。	486,535	363,000	県の出前講座による防災講演会で、自宅での危険箇所を改めて見直し、アンケート等を通じてそれらを地域で共有することで、地域全体での防災力向上に寄与した。
牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業	牛伏鉢伏友の会（松本市）	牛伏川階段工の重要文化財指定を契機として、地域にその存在を幅広く知ってもらうため、学習講座、見学会の開催や案内看板、パンフレット等の製作を行う。	893,138	467,000	現地案内活動、パンフレットの作成により、牛伏川の歴史的砂防施設を地域により広く周知するとともに、インストラクター制度の確立を目指すなど、事業の発展性に期待できる。また、行政や地元との連携・協力により、周辺環境整備が効果的に実施でき、防災遺産としての活用が進捗したモデル性の高い事業であり評価できる。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
だれもが参加したくなる心に響く交通安全イベント	交通教育とらふいっく Sisters (塩尻市)	子どもや高齢者を主な対象に、より興味を抱き心に残る「交通安全ミュージカル」を中信地区を中心に県内で広域的に開催し、交通事故のない安全安心な地域づくりを目指す。	2,159,221	1,591,000	地域の枠を超え、幅広い世代の住民に対し、依頼があれば機材一式を持参しミュージカル等でわかり易い交通安全教育を行う活動の形式と内容は他に類を見ないものであり、年間を通して開催回数も非常に多く活動実績も評価できる。
安曇野ウォーキングパトロール活動	安曇野ウォーキングパトロール隊 (安曇野市)	地域住民がウォーキングや犬の散歩をする際に腕章、タスキを身につけ警察官のパトロール活動では網羅しきれないきめ細やかな、交通安全、防犯パトロールの役目を担ってもらう。	1,007,843	752,000	地道な防犯啓発活動や市民自らが防犯活動に参画することで、防犯意識の高揚や犯罪の抑止など、安全・安心のまちづくりが図られた。
波田地区内循環バス運行事業	松本市波田循環バス運行協議会 (松本市)	高齢者や買物弱者などの生活交通確保のため、地区内循環バスを運行するとともに、町会独自の時刻表の作成やバスを利用した地区内見て歩きなどを行い、「自分たちのバス」であることの意識を高め、利用促進を図る。	1,488,196	413,000	地区の生活交通の確保やバスを利用した地域づくりのため循環バスを運行し、一定の効果があつた。今後は、利用者アンケート等を活用しながらダイヤを改善し、これまで以上に利便性の向上を図ることを期待する。

5 環境保全、景観形成に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
食品ロス削減事業	松本市	食べ残しを減らす取り組みを、家庭と外食(飲食店等)の両面から行うため、事業者側からの提案や協力を得ながら、リーフレットやチラシ、ペーパーコースターを作成し広く発信することで、「もったいない」意識の啓発を行う。	1,292,795	940,000	飲食店主、従業員らが積極的に来客者に対する啓発を行い、料理や配膳の工夫を行った結果、生ゴミが減少し、またスムーズな下膳による作業効率化などの効果が見られた。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
不用食器リサイクル事業	松本市	循環型社会の形成に向けて、廃棄物の発生抑制と再利用及び再生利用を推進するために、不用になった食器のリサイクル事業を、市民団体と協働により実施する。	401,954	301,000	市民ボランティアによる運営、啓発活動、市による処分経費の負担など、各主体が協働して不用食器のリユース等を実施し、ごみの減量と最終処分場の延命化が図られた。
みどり湖等景観保全事業	塩尻市	みどり湖の景観向上、観光客の安全確保のために、地域住民等と協働作業で棧橋補修や花公園の植栽を行い、地域が一体となって維持管理を行っていく体制構築のきっかけとする。	802,745	602,000	田川浦湖を中心に棧橋が整備され、釣り客（観光客）が安全に釣りを行えるようになった。みどり湖耐震化工事により、みどり湖での釣りができなくなってしまったが、工事完了後は再開される見込みであるため、釣り客や観光客の増加が見込まれる。
信州ブランド薪ストーブ導入により自然エネルギー普及啓発が「IILA（イーラ）」	朝日村	村内外から多くの方が訪れるクラフト体験館に薪ストーブを設置し、イベントに合わせて薪ストーブの展示会・相談会を実施等を行うことで、一般家庭での薪ストーブ設置による、自然エネルギーの普及拡大につなげる。	1,314,923	876,000	多くの方が訪れるクラフト体験館に薪ストーブを設置し、イベント等に合わせて薪ストーブの展示会・相談会を行うことで、一般家庭への薪ストーブの普及促進に寄与した。今後は展示ストーブを活用した継続的な普及の取組みを期待したい。
自然エネルギーを学ぶ (太陽と風と水)	庄内盛々会（松本市）	地元地区の子供会や公民館と協働して、地域の子ども達や震災で避難している方、障害者施設の子どもたちを対象として、気球の乗車体験、自然エネルギーやものづくりに関する体験イベントを行う。	455,319	337,000	子どもたちが自らの体験、実験により自然エネルギーを学ぶ契機となった。気球乗車では地元だけでなく、震災で避難している家族も参加し住民相互の交流を深めた。
「いきものみつけファーム in 松本」イベント運営・情報発信・普及啓発事業	いきものみつけファーム in 松本推進協議会（松本市）	地域の産学官民からなる本協議会が、市内小学生を対象として農薬や化学肥料を減らした循環型農業による農作業体験を行うとともに、生物多様性や商品流通まで学ぶ体験イベントを開催することで、環境教育・社会学習の必要性を学ぶ機会とする。	1,114,680	836,000	昨年度からのリピーターを含む多くの参加者（4回のイベントに約250名）があり、農薬や化学肥料を減らした循環型農業による農作業体験を行うとともに、生物多様性や商品流通まで学ぶ体験イベントを通じて、環境教育・社会学習の必要性を学ぶことができた。今後それを生かした教材づくり等の取組が期待される。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
ほたるの里づくり事業	梓川のせせらぎを守る会（松本市）	梓川地区の住民が中学生と協働で、ホタルの放流やその餌となるカワニナを育成するための養殖場を整備することで、自然環境の大切さを認識し、地域の活性化と交流を図る。	409,060	305,000	中学校と地区住民の協力により、ホタルの飼育、放流、カワニナの採取等を実施し、ホタルの発生数が増加した。今後は、元々生息していた梓川のホタルを増やすこと、ホタルも住める自然環境の整備を進めること等が期待される。
牛伏川改修工事沿革史作成事業	牛伏川をきれいにする会（松本市）	地域の生活の密着した川である牛伏川のかつての氾濫被害や改修工事により美しい景観となった歴史を沿革史としてまとめ、地区の小学校や史跡めぐり講座等で活用することにより、先人たちの苦労をしのび、川の世界整備について関心を持つ契機とする。	1,047,375	551,000	牛伏川の氾濫の歴史、改修工事の歴史を詳細にまとめた冊子を作成されたことにより、今後、地区活動、公民館活動の中で、冊子を教材として活用することが期待される。
花桃の散歩道整備事業	牛沢河童と蝙蝠の会（生坂村）	地域住民やパラグライダー愛好家が申請団体と協働して、農道の舗装工事（おてんま）を行い、併せて花桃や芝桜を植栽することで、地域の美しい景観を形成する。	595,355	403,000	協働作業により農道舗装や沿道の環境整備を実施したことで、地域住民の憩いの場が整備でき、住民と関連団体相互の交流や健康増進に繋がっている。
高ボッチ高原牧歌的風景形成事業	塩尻市	60周年を迎える高ボッチ観光草競馬大会の効率的な運営のため馬つなぎ場の改修とともに、老朽化した牧柵を住民との協働作業で修理することにより、高原の牧歌的風景を形成し、観光客の増加に寄与する。	1,552,060	1,164,000	官民協働作業で待機馬場整備や牧柵修繕を実施したことで、観光草競馬大会をより安全に実施できるようになるとともに、観光客が親しめる牧歌的高原風景の形成に寄与した。
若澤寺史跡現地整備事業	若澤寺史跡保存会（松本市）	市指定史跡の若澤寺跡の良好な史跡環境を維持するため、支障木の伐採を行うとともに、史跡の保存活用を地域に積極的に啓発していくための講演会や学習会の開催、冊子の編集を行う。	5,875,850	2,591,000	不要木伐採等の実施により、石垣や礎石等の遺構の配置が確認しやすくなった。講演会、勉強会や小中学生の課外授業での現地学習会を実施するなど、文化財を後世へ伝え残すことに寄与した。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
保福寺町歴史と文化再生事業	勇士の会（松本市）	保福寺峠周辺の案内板やベンチを地域ボランティアとともに設置し、憩いの場として活用するとともに、郷土の歴史・文化・景観をまとめたパンフレットを製作し、観光資源として広くPRし、観光客の増加と地域活性化を図る。	942,156	688,000	保福寺峠周辺を整備して憩いの場として利用できるようにし、パンフレット等により周知を図ったことにより、新たな観光資源の創出に寄与した。
観光温泉地における再生可能エネルギー及びバイオマスの利活用による地域活性化モデル事業	松本浅間温泉地域環境モデル推進協議会（松本市）	旅館等から出る廃食用油をBDFに精製し、送迎バスやボイラー燃料等に活用することで、エネルギーの地産地消循環システムを構築し、浅間温泉を環境配慮型温泉地として広く発信する。	1,960,350	1,081,000	バイオディーゼル燃料を活用するための計量機が設置されたことにより、今後、浅間温泉地域におけるマイクロバスのB5燃料の利用がすすみ、資源循環型社会の形成に寄与するとともに、地域のブランド力を高めることが期待される。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
復活「鉢盛山」みんなで作る新登山道整備事業Ⅱ	朝日村	本年度整備した新登山道の先線である旧登山道について引き続き整備が必要であるため、住民ボランティア等による登山道整備を行い、多くの観光客が訪れることで、地域の活性化に寄与する。	780,496	573,000	登山道整備にあたって、地域住民がボランティアとして多数参加し、地域一体となった取組として評価できる。今後は登山道の維持管理等を地域住民等が実施するなど継続的な取組みが期待される。
地域おこし協力隊発 信州朝日イメージアップ作戦事業	朝日村	村で開催するイベントに訪れる観光客に対して、おもてなしの心を大切に好印象で帰っていただくため、村の顔であるラベンダー畑の再整備と案内看板の設置及び村のキャラクターづくりを行う。	1,122,758	842,000	地域おこし協力隊員を中心に、村民が協働して村内への案内版設置やラベンダー畑の整備等を行うことで、村のイメージアップが図られた。今後は更に地域を広げ、管理等を含め取組みが継続されることを期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
美ヶ原高原ブランド力向上事業	美ヶ原観光連盟 (松本市)	H24までに整備完成した「美ヶ原高原ロングトレイル」「中央分水嶺トレイル」から難易度等の応じた複数のおすすめコースを開発選定し、ガイドマップを製作することで、観光客の誘客を促進する。	1,259,888	699,000	初心者や初めて訪れる観光客に美ヶ原高原一帯の自然環境資源について発信したり、遊歩道整備に地域の企業がボランティアとして参加するなど、地域の自然環境への関心を高め、美ヶ原高原の魅力発信に寄与した。
松本再発見おもてなし事業	松本おかみさん会 (松本市)	まちなかの商店街の店主が自ら観光案内を行い、観光客をおもてなしするため、観光パンフレットをセットにして渡すことのできるクリアファイルを製作する。また地域市民と共に、公共のスペースへ飾り付ける松本七夕人形を製作し、松本のイメージアップに努める。	962,779	670,000	街中に飾り付ける七夕人形の作り手や歴史講座の受講生を地域住民から募集するなど、地域をまきこんで「おもてなし」度の向上を図った点が評価できる。
奈良井宿 歴史の道「西側ルート」整備事業	地縁認可団体 奈良井区(塩尻市)	重要伝統的建造物群保存地区として認定されている奈良井宿の観光地としての付加価値を高めるため、区民一体となって旧奈良井氏居館跡の復元整備を行うとともに、地域資源学習会を開催し、住民自らが歴史を検証する機会を提供する。	939,000	704,000	地域資源学習会の開催や、地域住民参加による奈良井氏居館跡の整備作業を通じて、住民の地域に対する愛着と誇りの醸成に寄与した。
善光寺街道400年プレイベント「伊勢ー善光寺古道再発見」	善光寺街道協議会 (麻績村)	善光寺街道の知名度を高め、歩く道として復活させ観光資源とするため、新名所発掘のための学習会と探訪ウォーキングを開催する。また、歴史の史実を盛り込んだ善光寺街道歩きのガイドブックを編纂し、お披露目会において広く発表する。	3,229,257	1,576,000	善光寺街道に関する学習会やイベントの開催、冊子の製作等により、村内外に善光寺街道をPRすることができた。今後は製作した冊子を有効活用した学習会等を継続的に実施することで、善光寺御開帳との相乗効果が期待される。
新しい観光資源創造による地域づくり活動	山形村観光協会 (山形村)	山形村の魅力が村民が見直す場として様々な世代が参加するワークショップを開催する。そこで見出された観光資源を自然散策マップや案内看板として具体化し、ホームページやブログ等を通じて村内外へ広く発信する。	601,647	442,000	村の魅力ある資源を再発見するワークショップの開催はなされた。今後は、製作したホームページ等を活用しながら、それらの資源を整理し、村内外に見える化するための取り組み等をより一層進展させることを期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
野麦トレイルラン大会開催	野麦トレイルラン実行委員会 (松本市)	地域の食文化や財産である山里の自然景観を活かした「野麦トレイルラン大会」を開催することで、地域住民が自らもてなす心を育むとともに、奥深い山里の地域文化を広く発信する。	3,881,655	1,711,000	トレイルラン大会の実施により、参加者やその家族等への奈川地区の食文化や観光地の認知が図られた。今後は、自主運営に向けた取組が進められることを期待する。
市民観光コンシェルジュがつなげる人と街事業	まつもと城町市民コンシェルジュ(松本市)	市民ボランティアによる口コミ的な観光案内や、一般市民等を対象とした講演会の開催及び外国人向けガイドマップを製作することで、よりきめ細かな観光案内を行い、市内観光の魅力向上に寄与する。	536,920	402,000	市民ボランティアによるきめ細やかな観光案内や、急増する外国人観光客に対しての英語版パンフレットを活用した案内は、観光都市松本の「おもてなし力」向上に寄与しており評価できる。またシンポジウム開催により、市民ボランティアや関係機関との協力体制に広がりが見られる点も事業効果として評価できる。
YAMAKOI(安曇野軽トラ朝市、あづみの木もれ日マルシェ)	穂高山麓に熱気と活力をもたらす会(安曇野市)	主に女性をターゲットとしたハンドメイド作家による物産・展示の野外イベント及び地元高齢者や農家の出店による軽トラ朝市を開催することで、穂高山麓地域に観光客や登山客を呼び込み、地域経済の活性化に繋げる。	712,501	460,000	あづみの木もれ日マルシェや軽トラ市の実施により、地域へ多くの観光客が訪れたことで、山麓の賑わいと近隣の飲食店や商店の活性化が図られた。また、他地域から地域おこしの相談を受けるなど、今後、他地域への波及効果が期待される。
安曇野神竹灯(あづみのかみあかり)	安曇野で暮らすように泊まる実行委員会(安曇野市)	観光客が減少する冬季に、穂高神社とその周辺一帯で竹灯籠に灯をともしライトアップイベントを準備段階から地元住民や高校生を巻き込んで企画し、地域の一体感形成の機会とするとともに地域活性化を図る。	1,501,220	770,000	地元の高中生や商店主が参画しながら、安曇野神竹灯のイベントを実施し、穂高神社周辺の観光資源等を観光客が周遊する効果を生み、滞在型観光振興に寄与した。
廃線敷きおもてなし促進事業	ケヤキの道の会(安曇野市)	地域と行政が協働して整備し、現在トレッキングコースとなっている篠ノ井線廃線敷に、住民自ら距離を示す標柱等を設置し、利用者の利便性向上を図るとともに、当時の鉄道敷の面影を残した観光資源としてさらなる活用に繋げる。	583,852	428,000	住民が自主的・主体的に実施しており、来訪者の利便性を高め、観光資源としての質も高めたことにより、近代遺産として新たな地域の観光資源となり、来訪者の増加などの成果が出るなど、モデル性に優れた事業で評価できる。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
生坂農業未来づくり事業	生坂村	村内全戸を対象とした地域農業意向調査を踏まえ、村内の営農組合に住民が使用できる農機具を設置することにより、耕作放棄地を共同で管理する生坂スタイルの営農パターンを構築をする。また、農作物の基礎的な栽培研修を行う農業塾を開催することにより、農業従事者の育成と営農組合の経営安定を図る。	6,338,130	4,254,000	トラクター等の導入及び農業塾の開催により営農組合等の活動が活発になり、地域ぐるみでの遊休農地解消が期待される。
ドライ風土革命事業	生坂村	地域の農産物を使って保存、販売ができる新たな乾燥食材の研究、加工品開発を推進するため、地域団体のメンバーがボランティアで講師指導を務める調理加工講習会の実施及び食材乾燥機の購入を行う。	730,027	489,000	村で生産される農産物を使ったドライフードの料理講習会開催や、ドライフードを活かした地域の特産品の研究開発は、今後、新たな農産物の消費拡大や新商品の開発に繋がる取組として期待される。
「おいしい信州ふーど（風土）」松本地域活動事業	「おいしい信州ふーど（風土）」松本地域活動協議会（松本市）	地域農業に携わる関係機関・団体に加え、宿泊施設や飲食店が一体となって地域住民とも協働しながら、「おいしい信州ふーど（風土）」の特徴と総合供給力を活かした多様な商品・サービスを提供し、松本地域農産物の新たな需要を創出する。	6,236,421	4,989,000	農業者及び生産者団体、関係行政・団体等が連携し、松本地域農畜産物を活用した新商品・新サービスの開発・販売に取組むことで、松本地域の農畜産物の魅力を広く発信することができた。今後は、松本地域ならではの価値の創造・認知と需要の拡大への取組が期待される。
農地風食防止実証事業	松本南西部地域農地風食防止対策協議会（松本市）	毎年2～4月にかけて、強風により野菜畑等から砂塵が舞い上がって飛散する現象に対し、関係行政機関・団体と農家が連携してより農家の負担が少なく取り組みやすい対策を開発・検討し、被害の低減を図る。	2,086,500	1,666,000	大規模展示実証ほを設置し、新たな風食防止対策方法の周知ができた。本事業で得られた結果を元に啓発資料を作成することとなり、地域の団体や農家等と協働して、対策の実践・啓発活動に取組むことが期待される。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
バック トウ ザ キウ リ ステージⅡ「新展 開」	檜川地域おこし 農家組合（塩尻 市）	塩尻市唯一の伝統野菜「羽淵きうり」を「きちんと 作って」「きちんと売り」「きちんと食べてもらう」 ことを目的に、知名度向上のため栽培面積の拡大やレ シピ集の制作、料理講習会の開催等を行う。	547,181	410,000	栽培技術の確立に努め、共同ほ場を整備し栽培面積 を拡大したことによって収穫量、出荷数が増加し た。また、レシピ集及びパンフレットの作成・配 布、料理講習会の開催を通じ、塩尻市唯一の伝統野 菜である、羽淵きうりの知名度向上に大きく寄与 し、その活動等により信州の伝統野菜栽培地認定を 受けた点が評価できる。
まめ豆で元気上げる事業	生坂村農業公社 （生坂村）	無添加、地元産大豆で好評を得ている手づくり味噌を さらに増産し、商品のブランド化に寄与するため、定 量充填機を導入し作業の効率化と衛生面の改善を図 る。また親子を対象に味噌、豆腐づくりの体験教室を 開催し、食の安心安全、地産地消への理解を深める。	3,207,150	2,130,000	充填機の導入により、衛生面の改善や生産効率の アップにつながり、製造量も増加した。また、食育 体験を通じて多くの村民に「食の大切さ」や「本物 の良さ」を知ってもらうことができた。
川霧にはぐくまれる柿・ めじろの里づくり事業	草尾柿組合（生 坂村）	農家の高齢化によって困難が伴う柿の収穫作業を軽減 するため、低樹木栽培での平種なし柿の栽培育成を行 う。また、既存の収穫されていない柿を活用するた め、乾燥施設を設置しころ柿（干し柿）の加工生産を 目指す。	1,294,038	874,000	農家の高齢化、荒廃農地の活用、特産品の開発な ど、地域における様々な課題に対して、住民が創意 工夫をしながら精力的に取り組んでいるモデル性の 高い事業である。また、村全域から柿を収穫し干し 柿に加工するなど、活動の広がりがみられ、波及効 果に優れた事業であり評価できる。
遊休荒廃農地の解消と山 林整備と伐採木の有効活 用	フロンティア朝 日生きがいの会 （朝日村）	遊休荒廃地を借用し、山ふき・茗荷栽培を行い、農地 の再生と鳥獣被害防止に寄与する。また間伐等により 切り倒された木を薪として活用したり、アレチウリ駆 除を行うことで、山林環境整備を行う。	1,796,086	822,000	地域資源を有効活用した地域住民による生きがいつ くりが図られた。今後は活動メンバーを増やしたり 、現役世代の地域住民を巻き込んだ取組みを入れ るなど、地域全体を巻き込んだ取組みを期待した い。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
松本地域材の需要拡大及び森林整備の推進	松筑木材協同組合(松本市)	地域住民に地域材の良さを幅広くPRするため、様々な異業種団体と協働して、杉材の椅子づくり、模擬上棟式、林業女子によるチェーンソーデモなど地元地域材と触れ合う趣向を凝らした様々なイベントを同時開催する。	2,445,487	1,313,000	木材PRイベントには前年を大きく上回る来場者があり、多くの方に木の良さを感じてもらい、県産材や森林整備の重要性を広く伝えることができた。今後の県産材の需要増に期待したい。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (4) 商業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
松本地域健康産業推進協議会事業	松本地域健康産業推進協議会(松本市)	「健康寿命延伸都市・松本」の構築を産業面から支えるため、一般市民、医療介護関係等の当協議会への参画を図り、健康産業の地域プラットフォームの形成を目指す。	13,792,085	3,516,000	健康先進都市ゼミナールの開催により地域の住民をも巻き込んだ先進的な事例発表し健康増進を促すとともに、新たな産業の創出や取組につながった。健康を核として、経済、産業、観光、教育、都市基盤などが連携し、健康づくりや環境づくりが進められた点が評価できる。
音楽による商店街集客事業	塩尻大門商店街振興組合(塩尻市)	活気ある商店街にし、各店舗の集客力向上へ繋げるため、市民参加型の音楽イベントを定期的で開催する。またイベント告知のチラシ裏面に商店街情報(マップ等)を掲載することで、広報チラシを情報発信ツールとしても活用する。	1,143,976	709,000	塩尻駅前など商店街以外の場所で、他のイベントと連携して実施したことで、集客の相乗効果が生まれ、より多くの人を商店街へ呼び込むことができ、にぎわい創出へつながった。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
個店が輝くまちづくり事業 塩尻版「まちゼミ」	塩尻商工会議所 (塩尻市)	市内全域の商店を対象とし、少人数制の個性的なセミナーを開催することにより、各商店の魅力を発信し、街のにぎわいを高める。また、県内6地域でスタートしている「まちゼミ」の実例を意見交換する「信州まちゼミフォーラム」を開催する。	1,877,150	1,391,000	年2回のまちゼミの開催により、街のにぎわい創出に寄与した。また、松本市、下諏訪町との連携により開催した信州まちゼミサミットは、県内外からの参加者との意見交換ができ、地域を越えた連携への第一歩となった。
地元観光名所とNEWファッションの融合！地域発信型ファッションショー開発事業	なわコレ実行委員会 (松本市)	縄手通りをメイン会場として、地元の服飾店や美容室等が連携し「地域発信型ファッションショー」を開催するとともに、市街地回遊型イベントや、地元飲食店等とのオリジナルメニュー開発等を実施することで、中心市街地の活性化に寄与する。	3,377,378	986,000	地元の商店などが連携したファッションショーの開催により、異業種の団体が連携を組むきっかけとなり、ボランティアなどの住民の参加も得られ、市街地の活性化が図られた。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
おいしい信州筑北ふーど(風土)を包み込み！事業	筑北村	村の特産品である「もえぎとうふ」の販売をさらに延ばすため、様々な容器サイズに対応した豆腐自動包装機を導入する。	2,163,000	1,442,000	豆腐の自動包装機を導入することで、消費者のニーズにあった製品づくりが図られた。一方、小学生を対象としたとうふづくり体験行事は、参加者が少なく、計画や広報に課題があったと思われることから、次年度以降はより多くの児童が参加し、村特産の「もえぎとうふ」の理解が図られることを期待したい。
松本みすず細工復活プロジェクト	松本みすず細工復活プロジェクト (松本市)	みすず細工を地域の宝として復活させ、未来へ繋げていくための技術指導講習や講演会の開催及び技術講習により育成されてきた作り手による作品展示会やワークショップの開催を行う。	1,364,650	1,023,000	展示会やワークショップの開催を通じ、参加人数が増加するなど、徐々に市民の関心が高まった。今後は、製作者(職人)の育成と安定雇用を図り、販売につながる組織体制の充実が進められることを期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
「塩尻ワインの日」制定 記念イベント	地域ブランド推 進活動協議会 (塩尻市)	県内外に対し「塩尻産ワイン」の認知度を高めるため、毎月20日を「塩尻ワインの日」と定め、記念イベントとしてソムリエによるフォーラム等を開催する。また飲食店等でのワイン持ち込み協賛店制度を推進させ、販売消費量の増加に期待する。	2,048,075	399,000	H25.4月に「塩尻ワインの日」を制定してから、民間のレストラン等で毎月定期的にワインを楽しむイベントが開催されている。また、市内の飲食店において塩尻ワインの取り扱い店舗数も増加しており、地域ブランドの代表格であるワイン振興に寄与している。
やまこの学校	やまこの学校 (安曇野市)	貴重で希少な「安曇野・穂高天蚕」を地域に幅広く知ってもらい、関わりを持ってもらうため、体験学習型の講座を開催することで、地域資源としての愛着を深めるとともに、産業振興や伝統文化の継承に寄与する。	634,998	473,000	認識が低下していた穂高有明地方の特産である天蚕の周知をはかり、伝播・時代継承に貢献した。また、繊維関係メーカーの製品開発の動きが出るなど、安曇野の新たな地域ブランドとして発展していくことが期待でき、波及効果の大きい事業であることが評価できる。
朝日村大博覧会 ～まるごと朝日じかん～	朝日村商工会 (朝日村)	村産の食材を活用した弁当メニューを村内の地域団体と共に開発し、秋に開催する「食」をテーマとしたイベントで発表する。また間伐材活用と産業振興を図ることを目的に村内企業の産業フェアを併せ行うことで、農商工業一体となった事業とする。	1,540,902	907,000	商工会、企業、行政、住民団体等が一体となって取組んだことに大きな意義があり、村の食材やカラマツ材を使用した弁当箱の「むら弁」は、来場者にも大変喜ばれ、村内の食材を使用することにより、他地域へのPRができと思われる。継続性のあるイベントとして今後の取組みに期待したい。
山菜で生き生きステップアップ事業	生坂村	山菜を常温保存で長期間販売を可能とする真空パック包装機を導入し、生産者の収入増に寄与するとともに、山菜や1次加工に係る講習会の開催や、商品ロゴを制作し、商品のPRと販路の拡大を図る。	1,126,992	778,000	以前より景観・防災面で問題となっている手入れ不足の竹林や、山にある山菜を地域の有効資源として整備・加工・販売する持続的な取組が行われており、今回の事業である竹林整備講習会、機械導入及び商品ロゴ作成により更なる取組の発展が図られた。
若者の若者による若者のための就業支援セミナー	松本政経塾（松本市）	企業にとってどのような人材が求められているか学生自ら調査分析、企画立案し、地域で活躍する企業経営者等を講師に招き「採用される人づくりセミナー」を開催することで、就業支援につながる実習体験の場を提供する。	548,575	411,000	地域で活躍する企業経営者等を講師に招き「採用される人づくりセミナー」を開催し、就業支援につながる実習体験により、これからの就職活動や仕事に生かしてもらいたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
天蚕振興事業	安曇野市天蚕振興会（安曇野市）	「天蚕」を地域資源として今後も継承するとともに、天蚕糸を用いた新商品の開発を行い需要拡大を図ることで、安定した生産・販売のサイクルを確立し、地域ブランド構築に繋げる。	1,839,666	1,337,000	天蚕製品のサンプル製作、ロゴタイプ・パンフレット作成や東京都での天蚕製品の展示会の実施などにより、今後、天蚕糸の需要拡大につながり、天蚕技術継承者の育成が図られることが期待される。

7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
安曇野検定	安曇野市	過去の検定実施実績を踏まえ、総合的な分野での安曇野検定を実施する。また、市民の要望も取り入れて歴史上の人物と様々な分野をつなげて学ぶ事前準備講座を開催し、安曇野の良さを改めて実感してもらう契機とする。	3,183,743	2,387,000	安曇野検定や検定準備講座の実施により、住民が安曇野についてより広く学び、一体感を醸成する機会を提供した。今後は、検定合格者を中心とした自主活動グループの取組に期待したい。

8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
「クラフトのまち・まつもと」推進事業	クラフトのまち・まつもと実行委員会（松本市）	「クラフトフェアまつもと」や「工芸の五月」により着実に地域に浸透してきている「クラフト」を地域資源としてさらに活用するため、定期的なワークショップの開催する。また魅力を県内外に広く発信するためのガイドブック制作を行う。	1,940,921	1,455,000	ワークショップなどのイベントの開催や、フリーペーパーの制作、ウェブサイトの充実などの情報発信をされたことにより、「クラフト」という資源のブランド力の向上に寄与した。

事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	支援金額 (円)	講評
男女交流イベント開催による松本市活性化支援事業	松CON実行委員会（松本市）	未婚の男女が日帰りのバスツアーで松本地域の自然や農業体験を経験することで、地域の良さを再認識するとともに、共同作業を通して参加者同士の交流を促進する。	9,965,820	2,217,000	バスコンや松CONの実施により、多数の若者が参加し、出会いの場としての機能の他、若者が中心市街地へ出かけるきっかけを作り、中心市街地の賑わいの創出に寄与した。
信州ちくほくWebツーリズム立ち上げで筑北DNAよ、目覚めろ	筑北村	交流発信型サイト「ち〜ブロ」をさらに魅力あるものとするため、講習会の開催や掲載内容の充実を図るとともに、都市の若者を村内へ招待しての交流イベントや他県イベントへの出店によって、村の良さを幅広く発信する。	5,221,277	2,077,000	ブログサイト「ち〜ブロ」を開設し、筑北村の魅力や情報の発信したりキャンプ場を利用した交流イベントを開催することで、筑北のファンを開拓した。今後はブログサイトを活用してのブログの開設や、交流活動に多くの地域住民が参加することにより、更なる効果を期待したい。
人生の節目に集う	田川地区町会連合会（松本市）	次世代を担う若者が地域活動に関心を持ち、地域への愛着を深めてもらうため、新成人と小学校への新入学予定者を対象とした交流会を開催し、地域の多様な世代の住民との触れ合いの場を提供する。	484,673	312,000	若者と子ども・保護者と地域住民の交流により、地域における人々の団結力の向上が図られた。今後はこれらの取組みが継続的に実施されるとともに、より多くの人々が参加することにより、更なる事業効果が期待される。。
地域のお宝開発事業	両小野学園運営推進委員会（塩尻市）	次代を担う子どもたちが、地域の宝（自然、文化、歴史等）を発見し、自ら「地域の売り」を企画・開発し、ポスターセッションにより文化祭の場で地域住民に発信するとともに、住民投票で選ばれた優良企画については、市や地元振興会に諮り商品化につなげる。	461,250	338,000	生徒が地域の資源（宝）を見出し、住民と協働で活動することは、地域からも高い評価を受け、地域にとっても生徒の柔軟な発想と熱意が、地域を挙げて活性化を推進しようとする機運の高まりにつながったものと評価できる。
北山カタクリ群生地を守り続ける事業	カタクリを愛する会（麻績村）	会の活動費確保のため蕎麦を栽培しているが、蕎麦畑を耕すトラクター専用のロータリーを購入して作業の効率化を図るとともに、村内の地域おこし団体とも連携して、耕作放棄地の解消に活用する。	510,000	340,000	ロータリーの購入により、効率的なカタクリ群生地の環境整備が図られ、遊休荒廃農地の解消にもつながった。今後は、より多くの地域住民を巻き込んで継続的な取組みが行われることを期待したい。